

第 15 回公益社団法人山形県柔道整復師会少年少女柔道「形」競技会実施要項

- 1 主旨 嘉納治五郎師範は柔道稽古方法を「形」と「乱取」の二種に分類し、「形」は防禦に関しあらかじめ種々の場合を定め、理論に基づき身体の動きを規定し、その規定のごとく稽古すると教え、「乱取」とは一定の方法に拠らず、各自、勝手的手段を用いて稽古することであると教えられた。「投げの形」は講道館柔道草創期の時代を背景として制定された古典である。少年少女柔道は試合優先主義、勝負一辺倒から技の理合いの原点を正しく理解、体得させることが極めて重要である。柔道を通じて、少年少女の健全なる心身の育成に努めると共に、参加者相互の親睦ならびに、柔道整復師に対する理解を深め、柔道の発展に寄与することを目的とする。
- 2 主催 山形県柔道連盟
- 3 共催 公益社団法人山形県柔道整復師会
- 4 日時 令和 8 年 5 月 31 日(日) 午前 9 時 30 分 開会
午前 9 時 00 分 審査員・審判・監督会議
- 5 会場 三友エンジニア体育文化センター（上山体育文化センター）
上市市けやきの森 2 番 1 号 TEL023-673-2288
- 6 参加資格と編成 出場チームは全日本柔道連盟に登録している団体で、単一所属チームであること。各団体 1 組まで出場を認める。
チーム構成は、監督 1 名、選手 2 名とし 4 年生以上とする。
監督は全日本柔道連盟に指導者登録していること。
選手は保護者の参加承諾書を申し込み時に必ず提出のこと。なお保護者は参加選手の大会出場にあたり、事前に医師の健康診断を受けさせ異常(試合の出場に支障)がないことを確認しておくこと。
- 7 競技方法 審査員は 5 名で構成し、最高点と最低点を除いた 3 名の審査員の合計点を 100 点満点に換算し順位を決定する。受・取を一体と見て評価し、「形」の技、及び「礼法 全体の流れ」を各 10 点満点で採点し各組 1 回の演技とする。その他、審査基準の細部については別途定める。不測の事態が生じた場合の処置は、審査委員長に一任する。
形競技はワッペン大会低学年試合中に行います。
- 8 選手派遣・表彰 全国形大会は山形県優勝チームを派遣し、東北形大会は上位 2 チームを派遣する。優勝・準優勝・3 位を表彰します。
- 9 参加料 形競技のみに参加する選手は、1 名につき 1,000 円頂きます。

令和 年 月 日

公益社団法人山形県柔道整復師会
会長 佐藤 公司 殿

保護者

住所

氏名

印

携帯番号

第 15 回公益社団法人山形県柔道整復師会

少年少女柔道「形」競技会参加承諾書

きたる令和 8 年 5 月 31 日(日)開催の標記の大会に大会要項を遵守の上

下記の者が参加することを承諾します。

記

ふりがな

児童氏名

年齢 才

学校名